

みんなが自分らしく生きる権利について
いっしょにかながえてみませんか？

2025年度

人権講座

「ひまわり」

講座受講生を募集します

7月4日(金)
19:00~20:30

太宰府市立南隣保館

テーマ

「部落解放運動と共に生きて～運動
の中で育った私の人権意識～」

講師

部落解放同盟筑紫地区協議会
執行委員 清原 大輔さん

8月1日(金)
18:30~20:00

筑紫台高等学校 1号館4階 視聴覚室

テーマ

「耳のきこえない人たちの
人権について」

講師

社会福祉法人福岡県聴覚障害者協会
事務局 太田 陽介さん

9月5日(金)
18:30~20:00

プラム・カルコア太宰府多目的ホール

テーマ

吉塚市場リトルアジアマーケットで
の多文化共生の取り組みから

講師

一般社団法人 福岡国際市民協会
代表理事 ブイテイトウ サンゴさん

10月3日(金)
19:00~20:30

太宰府市立南隣保館

テーマ

ぼけてもいいよ
～認知症介護の現場から～

講師

宅老所 よりあい
代表 村瀬 孝生さん

11月7日(金)
18:30~20:00

国分共同利用施設

テーマ

声を聴くことから始まる子ども・若者支援
～「まちの保健室」の現場から～

講師

筑紫女学園大学
准教授 大西 良さん

11月16日(日)
10:00~11:30

プラム・カルコア太宰府多目的ホール

テーマ

「救えたはずの命から託された願いを叶えるために
～出会いで未来が変わる・変えられる～」

講師

スクールカウンセラー・元福岡県警少年育成指導官・公認心理師
安永 智美さん

12月5日(金)
19:00~20:30

太宰府市立南隣保館

テーマ

「情報」との付き合い方
～子どもとメディア 大人の役割を考える～

講師

NPO法人子どもとメディア
事務局 黒田 可奈子さん

受講料

無料／予約不要

※当日は手話、託児(2歳～小学3年生)を行います。
(託児については、講座の1週間前までに電話にて申し込みください。)

内容

講師の都合により内容を変更する場合がありますので、
事前に確認の上、受講をお願いします。

連絡先

太宰府市教育委員会 社会教育課教務係
〒818-0198 太宰府市観世音寺1-1-1

☎ 092-921-2121 (内線451)

主催：太宰府市教育委員会

2025年度 人権講座「ひまわり」

講座受講生を募集します！

だれもが人権尊重の主人公！あなたもいっしょに考えてみませんか？

が 7 月 4 日 (金) 午後 7 時～8 時 30 分	テーマ 「部落解放運動と共に生きて ～運動の中で育った私の人権意識～」	きよはら だいすけ 清原 大輔さん	だざいふしりつ みなみりんぼかん 太宰府市立 南隣保館
解放運動の中で育った子どもが大人になった今だからこそ発信できること。 差別や人権、学ぶことの大切さや重要性など皆さんと共有し、人を大切にする社会づくりに繋がっていったらと思います。			
が 8 月 1 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時	テーマ 「耳のきこえない人たちの人権について」	おた しょうすけ 太田 陽介さん	ちくしだい こうとうがっこう ごうかん かいし ちやうくしつ 筑紫台高等学校 1 号館 4 階視聴覚室
耳がきこえないということは外からみてわかりません。困っているときもまわりの人とコミュニケーションができないなど、きこえないということは、「わかりにくい障害」といわれています。しかし、その「障害」ってなにか、きこえないことがどういうことか、なにか困っているか、医療モデルから社会モデルへの共生社会をめざす意義がなにか、わかりやすく話します。			
が 9 月 5 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時	テーマ 「吉塚市場リトルアジアマーケットでの多文化共生の取り組みから」	パイ テイトウ サンゴさん 一般社団法人福岡国際市民協会 代表理事	プラム・カルコア太宰府 多目的ホール
福岡県は現在約 11 万人の外国人が在住し、今後も増加する予定があります。上位の国籍はベトナム、中国、韓国、フィリピン等の順になっています。毎年、外国人の労働者が過去最多更新されている中、外国ルーツの子どもと保護者も急速に増加しています。外国人（特に外国ルーツの子ども）は福岡でどのような課題に直面しているか。外国人労働者は安心して働くためには何か必要なのか。実際に福岡で多文化共生商店街として知られている吉塚市場リトルアジアマーケットで実施されている取り組みを紹介致します。			
が 10 月 3 日 (金) 午後 7 時～8 時 30 分	テーマ 「ばけてもいいよ ～認知症介護の現場から～」	むらせ たかお 村瀬 孝生さん	だざいふしりつ みなみりんぼかん 太宰府市立 南隣保館
おはいはすべての人に訪れますが、世の中にはアンチエイジングなど、老いることをできるだけ遠ざけようとする言葉で一杯です。けれども老いとは「昨日出来たことが今日できなくなり、今日出来たことが明日出来なくなる」ことなのです。それは自然の摂理であり避けることはできません。大切なのは「出来なくなる」ことを受けとめる力を養うことのように思います。そのことをみなさんと考えたいと思います。			
が 11 月 7 日 (金) 午後 6 時 30 分～8 時	テーマ 「声を聴くことから始まる子ども・若者支援 ～「まちの保健室」の現場から～」	おおにし りょう 大西 良さん	くこくふきようどうりやうしせつ 国分共同利用施設
多くの子どもや若者が利用する「まちの保健室」。そこには、今を生きる彼らのリアル（生の声）が寄せられます。「まちの保健室」では、一人ひとりの声や気持ちに耳を傾け、寄り添う支援を大切にしています。生きづらさが蔓延する現代社会において、私たちおとなにできることは何か。この講座では、子ども・若者支援について、参加者の皆さんと共に考えていきます。			
が 11 月 16 日 (日) 午前 10 時～11 時 30 分	テーマ 「救えたはずの命から託された願いを叶えるために ～出会いで未来が変わる・変えられる～」	やすなが さとみ 安永 智美さん	だざいふ たもくてき プラム・カルコア太宰府 多目的ホール
「ばくは、生まれてきてもよかったのですか？」当時中学二年生男子の言葉です。私は、これまで県警少年サポートセンター（前職）で、現在は学校現場においてスクールカウンセラーとして いじめや虐待、非行等の子どもの人権を傷つける問題を抱える子どもと逢と出会いました。今回、子どもと命・未来を守るために私達大人に求められていることについて、当事者の声をお伝えしながら家庭、学校、地域の皆様にご提唱させていただきたいと思います。			
が 12 月 5 日 (金) 午後 7 時～8 時 30 分	テーマ 「情報」との付き合い方 ～子どもとメディア 大人の役割を考える～	くろだ かなこ 黒田 可奈子さん	だざいふしりつ みなみりんぼかん 太宰府市立 南隣保館
ゲーム、スマホ、タブレット、PC などなど、「メディア」との親和性が高まってきて、接触の低年齢化、長時間化などが心配されます。子どもだけでなく、大人もネットの「情報」と、どう付き合っていくのか？子どもの様々な権利を基盤に大人の役割を一緒に考える時間に出来たら幸いです			

※上記内容で実施予定ですが、講師の都合により内容を変更する場合がありますので、事前にご確認の上受講してください。

※手話、託児（2歳～小学3年生まで）を行います。託児については、講座の1週間前まで申し込んでください。

【問い合わせ先】 住所：〒818-0198 太宰府市観世音寺一丁目1番1号

電話：092-921-2121（内線451）

主催：太宰府市教育委員会

受講料無料
予約不要